

2024年度 シラバス

講義名	方法	学年	学期	単位	担当教員
柔道整復学各論 I	講義	1	前期	2	節原 弘和

授業概要	上肢骨折での発生機序、症状、整復法、固定法、後療法など基礎から学ぶ。
到達目標	上肢骨折での発生機序から後療法までの基礎を学び、現場で使える知識を習得する。
成績評価	期末試験(学科試験)で評価
実務経験	整骨院やバスケットボールの救護での臨床経験の知識を交えて伝える

前期	講義内容
1	鎖骨部の損傷(機能と解剖、鎖骨骨折)
2	鎖骨部の損傷(鎖骨骨折)
3	肩関節部の損傷(機能と解剖)、肩甲骨骨折(体部骨折、上・下角骨折)
4	肩甲骨骨折(関節窩骨折、頸部骨折、肩峰骨折、烏口突起骨折)
5	上腕骨近位部の骨折(骨頭骨折、解剖頸骨折)
6	上腕骨近位部の骨折(外科頸骨折)
7	上腕骨近位部の骨折(大結節、小結節単独骨折、近位骨端線離開)
8	上腕部の骨折(機能と解剖)、上腕部の骨折(上腕骨骨幹部骨折)
9	上腕部の骨折(上腕骨骨幹部骨折)
10	上腕骨遠位部の骨折(上腕骨顆上骨折)
11	上腕骨遠位部の骨折(上腕骨顆上骨折)
12	上腕骨遠位部の骨折(上腕骨顆上骨折、上腕骨外顆骨折)
13	上腕骨遠位部の骨折(上腕骨外顆骨折、上腕骨内側上顆骨折)
14	前腕骨近位部の骨折(橈骨近位端部骨折、肘頭部骨折)
15	期末試験
16	解答解説

使用教材	柔道整復学・理論編(南江堂)
------	----------------

2024年度 シラバス

講義名	方法	学年	学期	単位	担当教員
柔道整復学各論 I	講義	1	中期	2	節原 弘和

授業概要	上肢骨折での発生機序、症状、整復法、固定法、後療法など基礎から学ぶ。
到達目標	上肢骨折での発生機序から後療法までの基礎を学び、現場で使える知識を習得する。
成績評価	期末試験(学科試験)で評価
実務経験	整骨院やバスケットボールの救護での臨床経験の知識を交えて伝える

中期	講義内容
1	前腕部の損傷(機能と解剖)、前腕骨骨幹部骨折(橈骨骨幹部骨折)
2	前腕骨骨幹部骨折(ガレアジ骨折、尺骨骨幹部骨折)
3	前腕骨骨幹部骨折(モンテギア骨折、橈・尺骨骨幹部骨折)
4	手関節部の損傷(機能と解剖)、前腕骨遠位端部骨折(橈骨遠位端部骨折)
5	前腕骨遠位端部骨折(橈骨遠位端部骨折)
6	前腕骨遠位端部骨折(橈骨遠位端部骨折)
7	前腕骨遠位端部骨折(橈骨遠位端部骨折)
8	手関節部の骨折(舟状骨骨折、三角骨骨折、有鉤骨骨折、豆状骨骨折)
9	手根骨部の骨折(その他の手根骨骨折)
10	手・指部の損傷(機能と解剖)、中手骨部の骨折(中手骨骨頭骨折、中手骨頸部骨折)
11	中手骨部の骨折(中手骨骨幹部骨折、第1中手骨基部骨折)
12	中手骨部の骨折(第1中手骨基部骨折、第5中手骨基部骨折)
13	指部の骨折(基節骨骨折、中節骨骨折)
14	指部の骨折(末節骨骨折、マレットフィンガー)
15	期末試験
16	解答解説

使用教材	柔道整復学・理論編(南江堂)
------	----------------